

令和2年度 千葉市中学校陸上競技記録会

- 1 主催 千葉市陸上競技協会
 2 期日 令和2年 8月8日(土) 9日(日)
 3 時間 受付開始 7時45分 競技開始 8時30分
 4 会場 青葉の森公園 陸上競技場
 5 種目

○=予選・決勝を実施する ◎=決勝のみの実施とする

		100m	200m	400m	800m	1500m	3000m	110mH	4×100mR	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
(1) 男子 8日 (土)	1年	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎
	2年	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎		}◎	}◎	}◎	}◎
	3年	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

【110mH:高さ0.914m ハードル間9.14m】 【砲丸投:3年5kg 1,2年4kg】

		100m	200m	400m	800m	1500m	3000m	100mH	4×100mR	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
(2) 女子 9日 (日)	1年	}◎	}◎	/	}◎	}◎	/	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎	}◎
	2年	}◎	}◎	/	}◎	}◎	/	}◎		}◎	}◎	}◎	}◎
	3年	○	○	/	○	○	/	○			○	○	○

【100mH:高さ0.762m ハードル間8m】 【砲丸投:2.721kg】

- 6 出場資格 (1) 学校教育法で定める1年生は平成19年4月2日、2年生は平成18年4月2日、3年生は平成17年4月2日以降に出生した生徒であること。
 (2) 千葉市内の学校に在学している生徒。
 (3) 健康面において競技に支障の無い者。日常の活動状況から本大会への出場に差し支え無しと判断し、保護者が承諾し、大会出場承諾書を提出した者。
 (4) 千葉市教育委員会が定める「部活動における対外試合等について」(6月10日付)に基づき、試合参加についての同意書を当該顧問に提出した者。
 (5) 参加(来場)する者(選手・引率顧問も含む)は日本陸上競技連盟及び開催陸上競技協会が指定する、新型コロナウイルス感染症についてのガイダンスに沿って、「JAAF体調管理チェックシート(大会前)」に大会1週間前から当日朝まで毎日検温・記録する。保護者が署名し、大会当日提出する。
 (6) 「JAAF体調管理チェックシート(大会後)」に大会翌日から2週間は毎日検温・記録し、当該顧問に提出すること。
- 7 出場制限 (1) 1人1種目以内(リレーを除く)。リレーは1校1チームとする。
 (2) トラック競技は1校1種目3名まで、フィールド競技は1校1種目2名までとする。(ただし、3年生は人数制限を設けない。)
- 8 申込方法 (1) 千葉市陸上競技協会のホームページから、申し込み方法を確認をし、所定の申込一覧表に必要事項を男女別に用紙を分けて記入し、期日厳守で申し込むこと。同じ申込一覧表をもう2部作成(複写可)し、合わせて3部提出のこと。
 (2) 書類の不備及び期日を過ぎたものについては受付できない。大会当日の申し込みはできない。
 (3) 出場選手は大会出場承諾書、JAAF体調管理チェックシート(大会前)を大会当日に本部に提出する。なお、提出の無い選手については出場を認めない。
- 9 申込料金 500円/1種目、リレーは800円/1チーム。 何れも大会当日に支払うこと。
- 10 締切り日 令和2年 7月21日(火) 【データ締切】午後5時必着、以降は受け付けない。
 【一覧表締切】午後7時必着、以降は受け付けない。
- 11 申込先&問合せ先 〒264-0003 千葉市若葉区千城台南1-20-1 千葉市立千城台南中学校 気付
 千葉市陸上競技協会 三宅 大樹 宛 (学校Tel237-1521)
 【千葉市陸上競技協会ホームページ】<http://chibashirikkyo.net/>
 【申込先アドレス】chibacity_trackandfield@yahoo.co.jp
- 12 表彰 個人表彰は、1~8位まで賞状を授与する。

- 13 その他
- (1) 事故が起きた場合には、主催者が応急処置をするが、以後の責任は負わない。
 - (2) 県中体連のナンバーカードを使用のこと。未登録者・申請中の生徒は仮ナンバーカードとする。
 - (3) ナンバーカード番号を一覧表に必ず記入のこと。
 - (4) 青葉の森陸上競技場は全天候型ですので、適したピンを使用すること。
 - (5) 出場校は役員又は審判を出すこと。（一覧表の競技役員欄に記名のこと。）
 - (6) 1、2年種目のトラック種目はすべて決勝タイムレースとする。フィールド種目は、走幅跳及び砲丸投は試技数3回、走高跳及び棒高跳は予選を行わない。
 - (7) 3年種目のトラック種目は予選、決勝を行う。但し、人数が少ない場合には決勝タイムレースとする。フィールド種目は、走幅跳及び砲丸投は予選、決勝を行い、走高跳及び棒高跳は予選を行わない。
 - (8) 日本陸上競技連盟及び開催陸上競技協会が指定する、新型コロナウイルス感染症についてのガイダンスに沿って競技会の運営及び会場設営を行う。また、参加者（選手・引率顧問・競技役員も含む）は新型コロナウイルス感染症予防に努めること。
 - ・無観客で実施する。競技会関係者以外の競技場への立ち入りを禁止する。
 - ・体調管理を徹底する。
 - ・常にソーシャルディスタンスの確保に努める。（最低1m以上。手の届く範囲に接近しない。）
 - ・多くの人が触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保つ。
 - ・3密を回避（密閉・密集・密接）する。
 - ・選手は運動中以外にマスクを着用し、競技役員は審判中もマスクを着用する。なお、熱中症に注意する。
 - ・こまめに手指消毒、洗顔等をする。
 - ・アップや競技後など、運動後には息が上がるため空気を深く吸い込むこととなることを認識し、ソーシャルディスタンスの確保（最低1m以上）に注意する。また競技後は速やかにうがい、洗顔する。
 - ・選手以外の付き添いは必要でない限り無くす。
 - ・招集所や選手待機場所等で密集しないようにし、自衛に努める。
 - ・用具の共有を極力避け、使用後には消毒する。
 - ・競技時間（アップ開始時刻）に合わせて会場入りしたり、競技終了後には速やかに帰宅したりするなど、密集しないための手立てをとる。
 - ・会場までの移動中の感染リスク（電車、バス等）についても十分に注意し、感染予防に努めるとともに、可能な限り徒歩や自家用車等で移動する。
 - ・新型コロナウイルスの感染防止対策には万全を期すが、万が一感染してしまったとしても、主催者は責任を負うことはできない。
 - ・毎日の検温を義務付ける。体調がよくない場合（当日朝の検温で37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合には出場を控えること。
 - (9) 専門部で7月22日(水)午後6時からプログラム編成会議を行います。
その際、不備等があった場合には連絡させていただくこともあるのでご承知おき下さい。
 - (10) 申し込みの不備がある場合は、主催者で処理させていただきます。ご注意ください。
 - (11) 大会1週間前にホームページ上にタイムテーブル等を掲載するので、確認すること。